



豊玉二中だより

令和元年度 第8号
発行日 12月20日(金)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

年末を迎えて

校長 神山 信次郎

師走に入ると早いもので、あと少しで2019年が終わろうとしています。今年には新しい時代「令和」を迎え、心新たにした人も多かったと思います。また、夏には台風の甚大な被害、9月にはラグビーワールドカップで、心沸き立ちと様々なことがありました。皆様にとって良い年だったでしょうか。一年という期間を考えてみると、多くの時間があり、当初は沢山のことができると思いがちですが、年の瀬になって振り返ってみると、思ったほどまとまったことができなかつたと感じることが多いようです。新しい年を迎える前の大切な節目である今、改めて自分の生活を見つめ直したいものです。私も反省することが多く、改善しなければならないことや、やり残したことを再検討しながら、来年こそは有意義な一年にしようと思っています。生徒の皆さんもこの節目に、今年一年の一日一日を振り返ってほしいと思います。良いことも悪いことも全部含めた日々の積み重ねが、今の自分を作っています。新しい年もまた、私たちに一日一日を用意して待っています。新年を迎えるにあたり「今年の目標」・「今年の抱負」など考え、一年の良いスタートがきれるようにしてください。

12月から3年生との面接練習を行っています。普段はあまり個人的に話ができない生徒達と、限られた時間ではありますが、真剣に話ができる良い機会を頂きました。生徒達は今回の面接の中学校生活で一生懸命取り組んだこと、進路先でどのようなことを頑張るかなど一人一人の考えや思いを話してくれました。また、将来の夢や希望を聞くことができました。私は面接練習で全員に「豊玉第二中学校の誇れることは何ですか」ということを最初の質問として聞きます。ほぼ全員が「挨拶がしっかりとできる学校」、「先輩、後輩の壁のない仲の良い学校」と返ってきます。「挨拶の響き渡る温かい学校」にしたい私にとってその答えは、本当に嬉しいものでした。そこに「豊玉二中の伝統と生徒のプライド、こだわり」を感じました。面接練習を終了して、改めて3年生の成長ぶりに感心させられました。まもなく3年生は入試本番を迎えますが、もう一度、自分は何が得意で、何が不得意なのか、そしてどんな夢をもっているかなど、十分に自分と向き合い、自分自身と話し合っしてほしいと思います。また、志望理由や進路先で頑張りたいこと、将来の夢の実現に向けどのような取り組みをしたらよいかも確認してください。全員が希望の進路に進めるように頑張ってもらいたいと願っています。1, 2年生も3年生の姿をみて、来年、再来年の自分に置き換えて、考え行動につなげてください。また、3年生の希望がかなうように、みなさんで応援してあげてください。

保護者・地域の皆様へ

今年も1年間、本校を温かく見守り、ご支援いただいたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。皆様のご支援のおかげで、様々な場面で豊玉二中生の成長を実感することができました。来年も、今年以上に飛躍した年になることを願い、新たな年を迎えたいと思います。皆様、良いお年をお迎えください。

